



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成26年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 大谷工業

コード番号 5939 URL <http://www.otanikogyo.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 芝崎 安宏

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理グループマネージャー (氏名) 阿部 昇 TEL 03-3494-3731

四半期報告書提出予定日 平成26年11月11日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の業績（平成26年4月1日～平成26年9月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	2,645	△2.2	129	△7.1	132	△18.8	137	25.8
26年3月期第2四半期	2,703	△6.0	139	△37.8	163	△34.0	109	34.3

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	15.65	ー
26年3月期第2四半期	12.44	ー

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	4,665	2,110	45.2
26年3月期	4,588	1,994	43.5

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 2,110百万円 26年3月期 1,994百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	ー	0.00	ー	2.50	2.50
27年3月期	ー	0.00	ー	2.50	2.50
27年3月期（予想）	ー	ー	ー	2.50	2.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成27年3月期の業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,400	△1.7	270	△9.1	280	△17.9	250	24.8	28.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期2Q	8,800,000株	26年3月期	8,800,000株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	7,025株	26年3月期	7,025株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期2Q	8,792,975株	26年3月期2Q	8,793,735株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
5. 補足情報	9
(1) セグメント及び品目別売上高明細、受注高及び受注残高	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済は、政府や日本銀行による経済・金融対策により円安・株高が継続しており、企業収益や雇用情勢にも改善が見られるなど景気は緩やかな回復基調が続いております。その一方で、円安による原材料価格の上昇や新興国経済の成長鈍化、東欧・中東の不安定な情勢などの懸念材料もあり、先行きは不透明な状況となりました。

当社はこのような状況の中、各事業で拡販に努めましたが、当第2四半期累計期間の売上高は2,645百万円と前年同四半期比58百万円(△2.2%)の減少となりました。

利益面につきましては、売上総利益が576百万円と前年同四半期比4百万円(△0.9%)の減少、営業利益は129百万円と前年同四半期比9百万円(△7.1%)の減少、経常利益は132百万円と前年同四半期比30百万円(△18.8%)の減少となりましたが、遊休地であった千葉工場の跡地売却による税金負担軽減により四半期純利益は137百万円と前年同四半期比28百万円(25.8%)の増加となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 電力通信部門

電力通信部門においては、売上高・利益ともに減少しました。

その要因として、電力業界では腕金の出荷が増加傾向にあったものの、設備投資抑制と入札制度による競争激化などから当社関連製品も伸び悩む結果となりました。また、通信業界ではコンクリートポールの建替え工事や光設備構築が一巡したことから、関連投資が低調に推移する厳しい状況となりました。

一方、鉄塔・鉄構については電力向け大型鉄塔の新設・改造工事は増加したものの、フェンス等の需要は少なく、売上高・利益ともにほぼ前年同四半期並みとなりました。

この結果、売上高は1,997百万円と前年同四半期比35百万円(△1.7%)の減少、セグメント利益は227百万円と前年同四半期比27百万円(△10.7%)の減少となりました。

② 建材部門

建材部門においては、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動などから、住宅建設については減少の動きが見られましたが、当社の関連する再開発案件や大型物流・商業施設等は堅調に推移しており、当社受注物件の施工も順調に進みました。その一方価格競争は激しさを増しており、採算重視の受注を徹底することで利益の確保に努めました。

この結果、売上高は647百万円と前年同四半期比23百万円(△3.5%)の減少となりましたが、セグメント利益は55百万円と前年同四半期比7百万円(14.9%)の増加となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、前事業年度末に比べ77百万円増加し4,666百万円となりました。これは、主に旧千葉工場跡地の売却等による現金及び預金109百万円、売上債権63百万円、棚卸資産63百万円の増加と、有形固定資産154百万円の減少によるものです。

(負債)

負債は、前事業年度末に比べ39百万円減少し2,555百万円となりました。これは、主に未払法人税等80百万円、退職給付引当金11百万円の減少と、仕入債務49百万円の増加によるものです。

(純資産)

純資産は、前事業年度末に比べ116百万円増加し2,110百万円となりました。これは、主に四半期純利益を137百万円計上したことによる増加と、配当金を21百万円計上したことによる減少です。この結果、有利子負債比率(D/Eレシオ)は0.2倍と良好な水準にあります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の業績予想につきましては、平成26年10月21日に発表しました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	764,895	874,578
受取手形及び売掛金	1,384,227	1,408,865
電子記録債権	34,177	72,577
商品及び製品	473,267	537,362
仕掛品	323,411	322,347
原材料及び貯蔵品	156,887	156,989
繰延税金資産	57,308	49,817
その他	12,591	20,976
貸倒引当金	△284	△297
流動資産合計	3,206,482	3,443,217
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	210,002	211,950
機械及び装置(純額)	421,086	430,457
土地	461,722	253,853
リース資産(純額)	911	672
その他(純額)	59,115	101,834
有形固定資産合計	1,152,837	998,767
無形固定資産	65,745	85,029
投資その他の資産		
投資有価証券	86,647	89,119
その他	77,176	50,145
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	163,822	139,263
固定資産合計	1,382,405	1,223,060
資産合計	4,588,887	4,666,277

(単位:千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	743,544	718,491
電子記録債務	441,717	516,638
短期借入金	300,000	300,000
設備関係未払金	93,462	94,554
未払費用	179,709	174,922
未払法人税等	83,887	3,724
その他	55,276	69,353
流動負債合計	1,897,598	1,877,685
固定負債		
長期設備関係未払金	151,358	146,793
退職給付引当金	420,117	408,456
役員退職慰労引当金	49,872	42,384
長期預り保証金	69,370	71,671
その他	6,479	8,433
固定負債合計	697,196	677,739
負債合計	2,594,795	2,555,424
純資産の部		
株主資本		
資本金	655,200	655,200
資本剰余金	221,972	221,972
利益剰余金	1,109,564	1,225,196
自己株式	△1,423	△1,423
株主資本合計	1,985,313	2,100,945
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	8,779	9,908
評価・換算差額等合計	8,779	9,908
純資産合計	1,994,092	2,110,853
負債純資産合計	4,588,887	4,666,277

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	2,703,769	2,645,374
売上原価	2,122,349	2,068,947
売上総利益	581,419	576,426
販売費及び一般管理費	441,880	446,811
営業利益	139,539	129,615
営業外収益		
受取利息	128	106
受取配当金	1,706	1,958
作業くず売却益	18,752	-
不動産賃貸料	3,000	4,211
雑収入	6,772	4,490
営業外収益合計	30,358	10,767
営業外費用		
支払利息	3,762	3,489
不動産賃貸費用	2,929	4,379
雑損失	0	47
営業外費用合計	6,692	7,917
経常利益	163,205	132,466
特別利益		
固定資産売却益	11,037	4,452
投資有価証券売却益	245	-
保険解約返戻金	-	19,386
特別利益合計	11,282	23,838
特別損失		
固定資産除売却損	756	4,100
投資有価証券売却損	148	-
特別損失合計	904	4,100
税引前四半期純利益	173,583	152,204
法人税、住民税及び事業税	41,704	720
法人税等調整額	22,464	13,868
法人税等合計	64,168	14,589
四半期純利益	109,414	137,614

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	173,583	152,204
減価償却費	82,896	82,331
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△12,989	12
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△8,176	△11,660
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△2,196	△7,488
受取利息及び受取配当金	△1,834	△2,065
支払利息	3,762	3,489
投資有価証券売却損益(△は益)	△97	-
有形固定資産除売却損益(△は益)	△10,280	△351
保険解約返戻金	-	△19,386
売上債権の増減額(△は増加)	△51,267	△63,037
たな卸資産の増減額(△は増加)	23,246	△63,132
仕入債務の増減額(△は減少)	△9,356	△191
その他	△71,388	△13,577
小計	115,903	57,146
利息及び配当金の受取額	1,834	2,070
利息の支払額	△4,548	△3,529
法人税等の支払額	△10,773	△76,323
営業活動によるキャッシュ・フロー	102,415	△20,635
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△101,773	△89,322
有形固定資産の売却による収入	17,500	217,015
投資有価証券の取得による支出	△633	△717
投資有価証券の売却による収入	5,295	-
出資金の払込による支出	△64	△39
貸付金の回収による収入	624	1,118
預り保証金の返還による支出	△717	△2,865
預り保証金の受入による収入	4,971	5,166
保険積立金の解約による収入	-	43,260
投資活動によるキャッシュ・フロー	△74,797	173,616
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△21,840	△21,717
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△8,499	△251
セールアンド割賦バック取引による収入	190,179	-
割賦債務の返済による支出	△27,958	△21,328
その他	△171	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	131,710	△43,297
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	159,328	109,683
現金及び現金同等物の期首残高	346,264	764,895
現金及び現金同等物の四半期末残高	505,593	874,578

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	電力通信部門	建材部門	合計
売上高			
外部顧客への売上高	2,032,616	671,152	2,703,769
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	2,032,616	671,152	2,703,769
セグメント利益	255,257	48,479	303,737

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	303,737
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△164,197
四半期損益計算書の営業利益	139,539

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第2四半期累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	電力通信部門	建材部門	合計
売上高			
外部顧客への売上高	1,997,505	647,868	2,645,374
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	1,997,505	647,868	2,645,374
セグメント利益	227,843	55,718	283,562

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	283,562
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△153,946
四半期損益計算書の営業利益	129,615

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

5. 補足情報

(1) セグメント及び品目別売上高明細、受注高及び受注残高

セグメント及び品目別売上高

(単位：千円)

セグメント及び品目		当第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	前第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	増 減	
				金額	率(%)
電力通信部門	架線金物	1,507,361	1,607,625	△100,264	△6.2
	鉄塔・鉄構	425,208	384,085	41,122	10.7
	その他	64,935	40,905	24,030	58.7
	計	1,997,505	2,032,616	△35,111	△1.7
建材部門	スタッド	641,319	661,767	△20,447	△3.1
	その他	6,549	9,385	△2,836	△30.2
	計	647,868	671,152	△23,284	△3.5
合計		2,645,374	2,703,769	△58,395	△2.2

セグメント及び品目別受注高

(単位：千円)

セグメント及び品目		当第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	前第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
鉄塔・鉄構	506,540	414,739	
その他	63,350	39,997	
計	2,128,207	2,030,750	
建材部門	スタッド	626,538	633,696
	その他	6,549	9,385
	計	633,088	643,082
合計		2,761,295	2,673,832

(注) 金額は販売予定価格によっており、消費税等は含んでおりません。

セグメント及び品目別受注残高

(単位：千円)

セグメント及び品目		当第2四半期会計期間末 (平成26年9月30日現在)	前第2四半期会計期間末 (平成25年9月30日現在)
鉄塔・鉄構	232,346	193,077	
その他	—	4,253	
計	422,228	343,533	
建材部門	スタッド	339,905	344,281
	その他	—	—
	計	339,905	344,281
合計		762,134	687,814

(注) 金額は販売予定価格によっており、消費税等は含んでおりません。